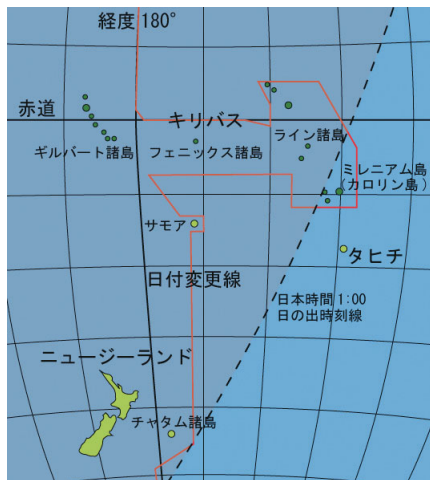




と、日付が一日戻ることになります。

太平洋にあるキリバス共和国は、以前は西のギルバート諸島と東のフェニックス諸島、ライン諸島の間に日付変更線が通っていました。しかし1つの国の中に2つの日付があるので不便だということで、1995年、国の東半分の日付を西半分と合わせることにしました。国の標準時間をどうするかは各国が決めることであり、日付変更線は別にどこかの機関が制定しているものではありません。このため自動的に日付変更線は、キリバスの東側を通ることになりました。



日付変更線付近の国々

ライン諸島のカロリン島は、キリバス

の中でも最も東の西経150度にあります。このため世界で一番早く2000年を迎えることから、島の名前もミレニアム島と変更されました。

ミレニアム島の初日の出の時刻は、日本時間だと1月1日の午前0時43分となり、世界でもっとも早い場所になります。ただしここは無人島なので、人が住んでいる場所だとニュージーランドのチャタム諸島のピット島が早く、日本時間の午前1時5分に太陽が昇ってきます。

ところで、ミレニアム島とほぼ同じ経度ですが南にあるタヒチ島ではまだ12月31日です。ということは同じ日の出を見ながら、一方は1月1日の日の出、他方は12月31日の日の出ということになるのです。

さらに早い場所が

ところでミレニアム島よりも、もっと早い場所があるという説があります。南極です。

南極はこの時期白夜で一日中太陽が沈まないのですが、東経135°、南緯66°付近の半島に、12月31日の夜中に一瞬太陽が沈み、すぐ直後の1月1日になって太陽が昇ってくる場所があるということなのです。

ただ、南極には地方時(各国ごとに定められた時間)というものがありません。となると、これは1月1日の日の出なのでしょう。もしかしたら12月31日なのか、定義のしようがありません。一番早い初日の出の場所というのも、結構難しいものなのです。

江越 航(科学館学芸員)